



日本の伝統文化

新年、あけましておめでとうございます。

お正月は日本の伝統、文化に触れる絶好の機会です。私たちの身の周りにはどのような伝統的な文化や芸能が存在しているのでしょうか。

今回の特集では小金井市中町で能面師というお仕事をしている長澤重春さんにお話を伺いました。

能・狂言

能とは一般的に平安時代の芸能である猿楽能（さるがくのう）を指しています。能は歴史のある神話や物語を題材にした悲劇が多いです。

狂言は、猿楽能の滑稽な部分を劇化した最古の喜劇です。能と併せて行われますが、能とは異なり、一般庶民の日常生活や人間のこっけいな部分を題材にした、笑いの劇を行う寸劇です。

能面

能面は、仮面劇である能を演じる際に使用する「面」（おもて）と呼ばれる道具です。

能面を付けるのは、「シテ方」と呼ばれる能の主演を演じる役者や、シテ方を補助する役者が付けるもので、老人、あるいは神仏、仙人や亡霊といった超人的な存在を演じる際に使います。

能面は普段の自分とは、全く違う次元の役に変身するための道具で、役者にとっては非常に大切なものです。



長澤能面教室作品展

市内で能に触れられる機会



小金井市では昭和45年に第1回公演が行われて以来、小金井公園にて例年8月に野外公演「小金井薪能」を開催しています。

昨年で36回を迎えたこの公演は多摩地区でもっとも歴史のある薪能です。

能面師 長澤重春さん取材しました

●能面の魅力はどのようなところにありますか？

能面の魅力は多表情であることです。能面はよく無表情と言われます。しかし、実際には違います。喜怒哀楽の4つの角が取れて、極限までに多表情となっていることが無表情に感じられるのです。

悲しい時に能面を見ると、その表情は悲しい表情をしています。対照的に嬉しい時に、その能面を見ると嬉しい表情をしています。

●能面作成の苦労はどのようなことでしょうか

作成の苦労は、思い通りの能面を作るのに非常に時間がかかることです。

能面を一気に作成してしまうと、時間が経って能面を見直すと、自分のイメージ通りでないことが多いです。そうならないために、能面を作成中に寝かして、数ヶ月後に見直して、イメージに合うように形を整えていきます。

能面には作成者の焼き判を入れます。600年以上、残り続ける焼き判の入った能面もあり、後世に自分の作品が引き継がれていくというプレッシャーがあります。



能面制作中の様子

●現在の活動について教えてください

長澤能面教室（中町1-10-19）を毎月第1週・第2週・第3週の日・月・水曜日を中心として運営しています。また、2年に1度、作品の発表会を開催しています。

取材にご協力いただきありがとうございました。

最後に、長澤重春さんの作品をご紹介します。



般若(はんにや)



翁(おきな)



小面(こおもて)

市民講座 報告

「能と狂言の魅力～鑑賞への誘い～」 貫井南分館

昨年11月7日から行ったこの講座は、日本の伝統芸能として挙げられる、けれど誰かに説明するとなると言葉に詰まってしまうそんな“モッタイナイ”を解消し、能と狂言を楽しめるようになろうと開催しました。

武蔵野大学能楽資料センター長の三浦裕子先生、能楽資料センター研究室員である別府真理子先生をお呼びして開催に至り、三週に渡りじっくりとお話を聞くことができました。

2回目の講座では講師のお二人が所蔵する能面や扇、衣装に使う織物を実際に触れる体験もあり、面の中から見える視界の狭さに大きな舞台上で舞う演者の大変さを垣間見ることが



能面を顔に当てて歩行する参加者の様子
でき、観賞する側だけではなく演者の視点も学ぶことができました。

○参加者の感想○

能・狂言を授業科目に持つ二つの大学の一つである武蔵野大学三浦裕子先生のお話は、大変分かり易く、3回の講義は①能の魅力、②能面・装束・扇の美、③狂言の魅力テーマに、名演の放映や、実物の能面・扇を観賞したり大変楽しいものでした。高校の授業で学んだ近寄り難い「伝統芸能」は、実は日本のミュージカルであると理解できました。講義資料を片手に、今日も人間国宝演ずる狂言のTV放送を楽しみたいと思っています。

成人学校 報告

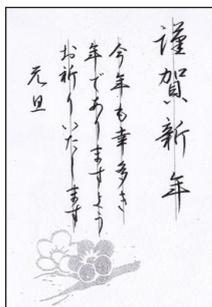
「心温まる手書きの年賀状」 本町分館

昨年11月26日に、文教大学講師の米本美雪先生をお迎えして開催しました。先生は、文部科学省検定済教科書の書写の執筆などをされている方です。

年賀状をパソコンで作ることが多くなっている昨今ですが、一部だけでも手書きで書いてみると相手を思いやる気持ちが現れるのではないのでしょうか。

今回は、年賀状の書き方のルールや、字のバランス、漢字の書き方のコツ等を教えていただき、実践練習しました。

最初は自己流で書いていた受講生も、先生のちょっとしたアドバイスで、最後には驚くほど上達していました。知識をもって書くのは、自分の字の自信に繋がります。今まで手書きを敬遠していた方は、どこか字に自信がなかったのも理由ではないのでしょうか。基本的な知識に自分の味わいを足して、心温まる年賀状を書いていただきたいものです。講義終了後には、受講生から今年手書きで書いてみようという感想が多く聞けて嬉しく思いました。



音楽鑑賞のつどい

「オペラって楽しい!!」

～初心者のためのオペラ入門講座～ 緑分館

オペラって難しくてとっつきにくいと思いませんか？有名なヴェルディの「椿姫」などを鑑賞しながら、歌手ならではの観点から、簡単なイタリア語講座など実践的な内容も交えて、面白く、そしてわかりやすく解説します。

とき 1月25日(日) 午後1時～3時

ところ 公民館緑分館レクリエーション室

出演 藤川泰彰さん (テノール歌手)
国立音楽大学声楽科のみなさん

定員 100人(申込順) 参加費 無料

申込 電話、または直接公民館緑分館
(☎042-387-7301)へ。



まちづくり講座 報告

「安心な暮らしをつむぐまちづくり」 本館

昨年11月5日から3回に渡って開催されたまちづくり講座、ひと口に「まちづくり」と言ってもテーマはとても広いです。

今年はどんな切り口にしようかと準備会で話し合い、三つの課題が提案されました。

一つは地域防災です。前原町四丁目町会が積極的な地域防災に取り組んでいて、今年4月、東京都から「東京防災隣組」に認定されたという情報が寄せられました。その町会の方から話を聞こうという企画です。

二つ目は高齢者の居場所づくりの取り組みです。高齢者が孤立しないために地域で地道に活動している団体からその活動を紹介していただくという企画です。

三つ目は地域の商店街を活性化させたいという視点です。中央線の駅高架化によりまちはどう変わるのでしょうか。地元商工会の方に話を聞こうという企画です。

3回のテーマはそれぞれに安心な暮らしに欠かせない課題ばかりです。とりわけ東北の震災以降、地域防災への関心は高まっています。誰もが必ず高齢者になる以上、安心できる居場所は今後ますます重要です。安心できる暮らしには安心して買い物ができる商店街がとても大切です。

これら三つの切り口から見るまちづくり、どの回も大いに考えさせられるテーマでした。

○参加者の感想○

- ・前原町の方たちの素晴らしい取り組みに関心しました。災害のこと、真剣に考えなければと思いました。
- ・高齢者の居場所の大切さが分かりました。健康維持のためのさくら体操、元気に楽しく体を動かすことが出来ました。
- ・駅周辺の再開発のことは理解できました。駅まで行けない高齢者のために地元の商店街は重要だと再認識しました。



図書館貫井北分室・公民館貫井北分館連携事業
「百人一首かるた大会」
 ～とってとってとりまろう～

体力と知力の勝負！ 競技かるたの世界を楽しんでみませんか。競技かるたのデモを見たあとに、ミニかるた競技を体験します。

とき 1月31日(土) 午後2時～4時
ところ 公民館貫井北分館 学習室C・D
講師 金森隆俊さん、他3人(府中多摩かるた会連盟)
対象 市内在住、在学の小学5年生から高校生世代
定員 20人(先着順) 参加費 無料
問合・申込先 1月5日(月)から電話または直接、図書館貫井北分室(貫井北町1-11-12 042-385-3561)へ。

男女共同参画講座
「きたまち保育サポーター講座」 貫井北分館

公民館貫井北分館で開催する講座の保育(有償)を担当する「きたまち保育サポーター」になるための講座です。子育て中の保護者の方を保育で支援しませんか。

とき・内容・講師 下表のとおり
ところ 公民館貫井北分館 学習室C・D
対象 市内在住・在勤・在学の20歳以上の方(子育て経験のない方、男性、子育てが終わった方も大歓迎)
定員 20人(申込順)
参加費 300円(茶菓代)
その他 保育あり(2歳以上、要事前相談)
申込 電話または直接、公民館貫井北分館(貫井北町1-11-12 042-385-3401)へ。



日時	内容	講師
1/22(木)	オリエンテーションと子どもの理解など	福元真由美さん(東京学芸大学 准教授)
1/29(木)	子どもの病気と事故の応急・救急手当て	小金井消防署員
2/5(木)	心の発達と保育者のかかわり(前編)	佐々加代子さん(白梅学園大学 教授)
2/12(木)	心の発達と保育者のかかわり(後編)	佐々加代子さん(白梅学園大学 教授)
2/19(木)	子どもの遊び	真木千壽子さん(東京学芸大学芸の森保育園施設長補佐)
2/26(木)	交流会	宮澤陽子さん(元小金井市子ども家庭支援センター長)

いずれも、午前10時～正午まで(全6回)

月刊こうみんかん12月号訂正



図書館「YAコーナー」キャラクター ヤン

月刊こうみんかん12月号一面で紹介した「ヤン」は、図書館貫井北分室「YAコーナー」のキャラクターです。

子育て・子育て支援「イライラの消しゴム」
 ～子どもを怒ってしまう前に～ 貫井北分館

家庭の中でのイライラや不安の気持ちと上手につきあって、明日を気持ちの良い一日にしましょう。

とき・内容・講師 下表のとおり
ところ 公民館貫井北分館 学習室C・D
対象 市内在住・在勤の保護者
定員 20人(申込順)
その他 保育あり。9人まで(2歳以上、要事前相談)。
申込 1月16日(金)から、電話または直接、公民館貫井北分館(042-385-3401)へ。

日時	内容	講師
2/13(金)	怒りの気持ちはどこからくるの? ~イライラの消しゴムを手に入れよう~	高田しのぶさん(日本アンガーマネジメント協会 講師)
2/20(金)	怒りを上手に伝えよう ~新しい色鉛筆で家族を描こう~	
2/27(金)	元気の素を引きだそう ~体内時計と生活リズム~	田副真美さん(ルーテル学院大学 准教授)

いずれも、午前10時～正午まで(全3回)

市民講座
「小金井のいま・これから」 本館

小金井市の「いま」と「これから」のことを財政と子育て事情から考えます。

とき・内容・講師 下表のとおり
対象 市内在住・在勤・在学の方
定員 40人(申込順)
保育 1歳以上の幼児5人(一人1回100円、要事前申込)
参加費 無料
申込 1月5日(月)から住所、氏名、年齢、電話番号を電話、メールまたは直接公民館本館へ。(042-383-1184) ☒k020499@koganei-shi.jp



日時	内容	講師
1/29(木)	小金井の財政はどうなっているのか? ~大枠を知る	大和田一紘さん(NPO多摩住民自治研究所理事長)
2/5(木)	小金井市における再開発とその問題点 ~市民の立場から	金子貞吉さん(前原町在住)
2/13(金)	仕事と子育てを両立できる安心のまちづくり	堀真奈美さん(東海大学教授)
2/19(木)	市民の目で見えた行政施策と私たちのできること	佐藤宮子さん(中町在住) 水津由紀さん(緑町在住)

いずれも、午前10時～正午まで(全4回)
 ※2/13のみ金曜日開催になります。

◆ 1月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館	公民館貫井北分館
中町 4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町 2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	貫井北町 1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
	1月4日(日)～ 2月28日(土) トイレ改修工事 により、休館し ます。				☆若者コーナー 「きたまちキッチン」 若者クッキング編 ☆子育て・子育て支援 「イライラの消しゴム」 市報1月15号に詳細

子育て・子育て支援 報告

「フォト&スクラップブック講座」 貫井北分館

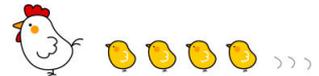
参加者の感想

「月刊こうみんかん」を読んでいると「フォト&スクラップブック講座」の案内が目にとまりました。所有しているカメラを使いこなせておらず、また、子どもが誕生してからの写真を整理できていない私はとても興味を持ちましたが、小さい子どもがいるため簡単に受講はできません。ところが、そこには「保育あり」との記載が。私は迷わず申し込み、貫井北分館で10月中旬から全3回の講座を受講することになりました。



1回目は写真撮影の座学で「じっとしていない子どもを撮るには?」、「記念写真に背景と人物を上手く収めるアングルは?」など、具体的なシチュエーションを例に直ぐに役立つ撮影のコツを教えてくださいました。2回目と3回目は現像した写真を装飾するスクラップブックで、持参した写真を使ってアルバムの1ページとフォトフレームを制作しました。1枚の写真に向き合うことで撮影した時の記憶が反芻(はんすう)され、より深い思い出になった気がします。今回、普段私と離れることがない子どもを預けるのは少し不安でした。けれど、そんな不安をよそに子どもはとても楽しんだようで、講座に行く度に言葉も遊びのバリエーションも少し増え、成長を実感することができました。私はリフレッシュして笑顔に、子どもは楽しみが増え笑顔に、持ち帰った作品は居間に飾り家族の笑顔の素になっています。“日常に彩りを添える”そんな素敵な講座でした。(貫井南町在住K.M)

「わたしの散歩道」



家から東小金井駅へと毎日通う道に新しい道ができた。11月はじめにJR高架下に新しいお店ができ、「ののみち」ができた。私が越してきた十数年前は東小金井の駅前にはお店も少なく、このあたりはJRの資材置き場と草だらけで人が通れるみちなどなかった。その後、JRが高架になって、駅舎もきれいになり、線路に沿って道ができ、「ののみち」ができた。この道ができるのを長年見守ってきた気分だ。線路に沿って気持ちいいくらいの真っ直ぐな新しい道、やや小ぶりでおしゃれな店が並んでいる。幾つものお店を覗きながら、「ののみち」をいつもよりゆっくり歩く。ガラス越しにそれぞれのお店の表情を楽しみながら。品物が棚いっぱい並ぶ小物店、人が集って楽しそうな飲食店。駅の西側も面白い。「ののわ口」の改札を出ると小さな時計台があり、レンガ調の石畳と懐かしい感じのする音楽が聞こえてくる。線路の高架下の天井とお店に囲まれた空間はとても駅とは思えない。クリスマスシーズンにはお店も商品も色鮮やかに飾られて、ここはディズニーランドの一部かとも思えてくる。見慣れたはずのファストフードのお店もなんだか違って見えてくる。そんなお店を横目にみながら歩いていくと小さな泉があり白い木が植わっている。そこから外にでて、また「ののみち」は続く。黄緑色のしゃれた自転車と並ぶレンタルサイクルの先で、ちょっと一休みにカフェに入ってみるのもいい。まだまだ空き地が多いこの道に、これから多くのお店と人が集まりにぎやかな小道になっていくのだろう。今後の変化も楽しみだ。(東町在住M.M)

ITサポートセンター こがねいパソコン相談室

パソコンの操作で困っている方、インターネットやメールの仕方など、パソコンに関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

時間 毎週日曜日と水曜日の午後1時から3時
※1月1・4・7日はお休みです。
※本町分館は、工事により2月までお休みです。

場所 公民館本館・貫井北分館・貫井南分館・東分館・緑分館

問合せ先 公民館本館 (☎042-383-1184)